

令和4年度事業報告書及び事業報告の附属明細書

I 概要

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、地域緑化活動を通じたネットワークの拡大及び緑地保全や県民参加の森林づくり事業の強化を基本方針として各事業について次のとおり取り組んだ。

- 普及啓発事業では、WEBサイトや機関誌「ミドリ」による情報発信のほか、小網代の森でのアカテガニ放仔観察会等の自然観察会やネットでの動画配信を通じ、かながわのナショナル・トラスト運動等の普及啓発や会員募集に取り組んだ。また、「かながわ緑の大使」による募金活動やテレビやラジオに出演するなど広報活動に努めた。
- 地域緑化活動事業では、地域の緑化に取り組む「みどりの実践団体」の募集と育成に努め、市民団体が抱える課題解決のための研修会等も開催した。
- 緑地保全事業では、土地所有者との緑地保存契約の継続や拡大に努め、保存契約緑地等のナラ枯れ被害木の対応やトラスト緑地で自然再生等の活動を行っているボランティア団体を支援した。
- 県民参加の森林づくり事業では、森林ボランティア活動の推進、森林インストラクターの養成、成長の森の造成、新たな活動フィールドの準備等により、県民の森林づくりへの参加促進に努めた。また、県民との協働による森林づくり実行委員会の事務局として緑の祭典を秦野市で開催した。
- 緑の募金事業では、緑の募金活動を行うとともに、直接事業として緑化運動・育樹運動コンクールや新規事業として企業の森林づくり体験活動事業を実施、支援事業として学校や団体の行う緑化活動や緑の少年団の活動への支援を行った。また、いきいき緑基金を活用し、県内で活動するボランティア団体等に対し、竹林等の整備として竹粉碎機の貸し出しを行った。

II 事業の実施状況

1 普及啓発事業

(1) 広報普及活動

みどりを守り育てる運動を県民や企業等に周知し、会員登録、基金への募金、運動への参加を促進するために各種イベントでのPR、ホームページや地域情報誌等による広報、自然観察会等を行った。

ア イベントでの普及啓発活動

開催日	場所	主な内容
令和4年7月15日(金) ～24日(日)、11月18日 (金)～11月27日(日)	藤沢市長久保公園	かながわのナショナル・トラスト運動パネル展
令和4年8月4日(木) ～7日(日)	京急百貨店	小網代の森動植物写真及びかながわのナショナル・トラスト運動パネル展等
令和4年8月8日(月) ～10日(水)	ウイング久里浜	小網代の森動植物写真及びかながわのナショナル・トラスト運動パネル展等
令和5年2月10日(金) ～12日(日)	アミューあつぎ	第22回さがみ自然フォーラム・パネル展
令和5年2月10日(金) ～15日(水)	京急百貨店	小網代の森の動植物写真及びかながわのナショナル・トラスト運動パネル展

イ 機関誌ミドリの発行

機関誌ミドリを4回発行し、会員や県、市町村、県立公園、博物館等に配布して県民のみどりに対する理解増進を図った。

号	発行	発行部数	主な内容
125(夏)	令和4年6月	10,000部	トラスト緑地で活動を、森林づくり活動のボランティアに参加しませんかなど
126(秋)	令和4年9月	10,000部	拡大する県内の「ナラ枯れ」発生状況、バードウォッチング初歩講座など
127(冬)	令和4年12月	10,000部	2万5千年前の旧石器時代人の生活とは、拾った羽どうしてますか?など
128(春)	令和5年3月	10,000部	神奈川のコウモリ、大佛次郎茶亭のこれからなど

ウ 小網代の森インフォメーションスペースの出展等

期間 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)

場所 三浦市民交流センター内小網代の森インフォメーションスペース

内容 普及啓発パネル、小網代の森の動植物の写真展示及び学習図書の提供

エ かながわのナショナル・トラスト運動のPR

トラスト運動リーフレットや啓発用物品を作成し、市民団体や企業等に配布した。

- (ア) 入会申込書付きリーフレット 25,000部
- (イ) 小網代の森リーフレット 5,000部
- (ウ) イベント&森林ボランティア情報誌 1,500部
- (エ) 財団PR動画の作成 3分及び15秒版
- (オ) 新聞折込チラシ 140,000部
- (カ) 横浜商工会議所折込チラシ 12,000部

オ WEBサイト等の充実

・ホームページアクセス件数16,481件/月(目標15,000件/月)

(ア) 情報発信及び整備

公式WEBサイトやSNS(facebook、Twitter等)で会員募集や寄附の情報発信及びWEBサイトの整備に取り組んだ。

(イ) 動画配信サービス

財団専用Youtubeチャンネルにて、オンライン・ライブ配信等を行った。

日時 令和5年2月23日(木・祝)ほか1回

視聴数 173人

講演 「ナラ枯れ対策と森林緑地の管理セミナー」

講師 神戸大学名誉教授 黒田 慶子 氏

カ 自然観察会等の開催

(ア) 自然観察会等

開催日 令和4年4月13日(水)ほか19回

場所 大和市久田緑地ほか

参加者 413人

内容 動植物や野鳥などの観察、竹林管理体験やナラ枯れ処理体験、三浦半島

クルージング観察など

(イ) 小網代の森観察会の開催

a ホタルの夕べ2022

開催日 令和4年5月26日(木) ほか1回

場 所 引橋入口からえのきテラス

参加者 66人

b アカテガニ放仔観察会及びオンライン・ライブ配信

開催日 令和4年7月30日(土) ほか1回(ライブ配信は途中、荒天により中止)

場 所 アカテガニ広場から海岸線

参加者 221人

(ウ) 歴史見学(公益財団法人鎌倉風致保存会との共催)

開催日 令和4年5月21日(土) ほか1回

場 所 永福寺ほか

参加者 18人

内 容 植物、樹木の観察

(エ) 森林探訪(NPO法人かながわ森林インストラクターの会との共催)

開催日 令和4年4月17日(日) ほか1回

場 所 多摩よこやま道ほか

参加者 71人

内 容 植物、樹木の観察

キ 関係団体への普及啓発に係る事業の連携

(ア) 関係団体への後援

藤沢市みどりいっぱい市民の会、箱根生物研究会、NPO法人あしがらアートの森、三浦市、公益財団法人神奈川県公園協会、さがみ自然フォーラム

(イ) 委託事業の実施

NPO法人小網代野外活動調整会議とNPO法人かながわ森林インストラクターの会に当財団の普及啓発及び会員募集を委託した。

ク かながわ緑の大使の活動

中高生の8人が、財団主催のかながわ緑の大使として竹林整備、県民参加の森林づくり、自然観察会等に参加し、募金活動等を行った。また、テレビ神奈川「カナフルTV」、FMヨコハマ「カナガワマフィン」、財団PR動画に出演し広報活動に努めた。

ケ 顧客管理システムの管理

会員及びイベント参加者等の情報管理の効率化やセキュリティーの向上に努め、顧客管理システムの基盤整備を強化した。

コ かながわトラストみどり財団サポーター制度の活用

財団の事業運営を支援するサポーターを追加登録(4人)した。

登録人数 72人 活用回数 12回(自然観察会ほか)

サ (新規) 会員募集推進員

財団の会員募集を担う推進員の募集を行った。

登録人数 4人

シ 会員数

- ・新規会員469人（目標500人）、トラスト緑地保全支援会員107人（目標120人）

会員種別		令和2年度	令和3年度	令和4年度
普通会員	個人会員	3,578人 〔438人〕	3,564人 〔459人〕	3,467人 〔465人〕
	家族会員	6,053人 〔706人〕	5,766人 〔681人〕	5,593人 〔684人〕
	団体会員	274人 〔29人〕	277人 〔33人〕	327人 〔47人〕
特別会員		310人	307人	306人
名誉会員		5人	5人	5人
会員数		10,220人 〔1,173人〕	9,919人 〔1,173人〕	9,698人 〔1,196人〕
(内、過去1年間に会費の納入があった会員数) (%は特別・名誉除く)		(8,641人) (87.2%)	(8,432人) (87.8%)	(8,270人) (88.1%)

※〔 〕は内、トラスト緑地保全支援会員数

※会員規則第8条第1項第2号により「会費を引き続き2年以上納入しないとき。」は会員資格の喪失が規定されています。

(2) 緑化協力金制度の運営

25箇所の協力駐車場のうち当財団では片瀬海岸地下駐車場や四季の森公園など14箇所の駐車場の緑化協力金を集結し、県のトラスト基金への積み立てを行った。

2 地域緑化活動事業

地域緑化を推進するため、みどりの実践団体を募集するとともに、みどりの実践団体が行う緑化活動の支援を行った。また、高齢化等により実践団体の活動参加者が減少傾向である課題に対して、地域緑化の取り組みをテーマに研修を開催した。

(1) みどりの実践団体の育成

ア 参加団体数

- ・財団事業に参加した団体数219団体（目標215団体）

イ 支援制度

地域におけるみどりの愛護と創造を実践する団体に対し奨励金及び地域緑化活動助成金を交付した。

初年度奨励金 1団体 二年度奨励金 3団体

地域緑化活動事業助成金 46団体

ウ みどりの実践団体の募集

地域のみどりや身近な自然を守るために活動している自治会や市民団体等を支援するみどりの実践団体について、WEBサイトや新聞折り込み広告等により周知を図り、登録の促進に努めた。

エ みどりの実践団体研修会

開催日 令和4年11月27日（日）

会場 横浜情報センター「情文ホール」

参加者 みどりの実践団体 24団体（64人）、かながわ緑の大使 5人

講演 「身近なみどりの大切さをテレビで表現するために」

講師 日本テレビ放送網株式会社 プロデューサー 似鳥 利行 氏

発表 「地域の自然と関わり子供たちが学んだこと」

発表者 横浜市立南舞岡小学校 主幹教諭 長野 亮太 氏

「子供たちとの地域活動について」

発表者 新生さくら道の会 会長 石川 正治 氏

オ 団体交流の促進

みどりの実践団体の事業推進に資するよう各団体の活動状況、課題、他団体への呼びかけや連絡先等を紙面にまとめ、実践団体に送付し団体間の交流に努めた。

(2) 地域活動の支援

県内の魅力あるみどりのスポットとして令和元年度に選定した「かながわのみどりや森林におけるパワースポット（10箇所）、癒やしスポット（26箇所）」について、WEBサイト等の紹介や観察会の対象地とするなど周知に努めた。

3 緑地保全事業

緑地所有者と緑地保存契約を締結して、緑地の適正な維持管理に努めるとともに、緑地で活動する市民団体への支援、蟹田沢緑地の保全及び小網代の森保全利活用対策協議会を開催した。

(1) 緑地保存契約

5箇所の緑地について緑地所有者と保存契約を継続し、新たに久田緑地において319㎡（目標500㎡）の保存契約を締結した。

緑地名	緑地総面積 (㎡)	保存契約 対象面積 (A) (㎡)	保存契約 面積 (B) (㎡)	契約率 (B/A) (%)	契約 期間 (年)	年間賃借料 (円)
葛葉緑地 (秦野市)	152,784.95	77,022.84	57,393.84	74.5	10	2,971,550
久田緑地 (大和市)	98,239.00	81,891.00	75,467.00	92.2	10	5,433,624
泉の森緑地 (大和市)	79,454.31	39,528.46	26,698.38	67.5	10	3,405,874
大崎緑地 (逗子市)	70,936.70	34,343.70	10,329.95	30.1	10	247,918
小網代の森緑地 (三浦市)	574,500.00	104,007.00	104,007.00	100	10	33,531
5緑地 計	975,914.96	336,793.00	273,896.17	81.3	—	12,092,497

(2) 保存契約緑地等の維持管理

保存契約緑地の巡視及び、葛葉緑地（秦野市）、久田緑地（大和市）の草刈り及びナラ枯れの被害木の伐採等の適正な管理に努めた。

(3) 緑地保全コーディネート

ア 保全緑地等選定委員会

保全すべき緑地の選定及び緑地保全に関する事項等を審議した。

開催日 令和5年2月28日（火）

会場 かながわ県民センター

イ 小網代の森保全利活用対策協議会

小網代の森緑地について、財団、県、有識者、保全活動団体等で構成する小網代の森保全利活用対策協議会を開催して小網代の森の利用、保全対策、管理活動等について協議した。なお、本年度は、書面により2回開催した。

ウ トラスト緑地の保全支援

トラスト緑地において、自主的に保全活動にあたる4団体に対してトラスト緑地保全支援事業として活動費を助成した。

・小網代の森緑地（NPO法人小網代野外活動調整会議）

大規模な湿地環境再生事業、外来種指定植物の除去作業及びホタルのタベやアカテガニ放仔観察会の支援に取り組んだ。

・久田緑地（久田緑地くらぶ）

竹林の定期的な伐採や落ち葉かきなど里山の維持管理活動に取り組んだ。

・桜ヶ丘緑地（桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト）

水辺の環境の維持管理作業を地元小学校と取り組むなど、地域連携による環境保全活動に取り組んだ。

・葛葉緑地（くずはの家ボランティアの会）

緑地内の清掃、外来指定植物の除去作業及びヤマビル忌避対策等に取り組んだ。

エ 蟹田（ガンダ）沢の保全

京浜急行電鉄株が所有する蟹田沢緑地（小網代の森隣接地）の保全に協力するため、ビオトープの整備、生態系の保全業務を受託した。

4 県民参加の森林づくり事業

（1）ボランティア活動の推進

多様な森林づくりボランティア活動の機会の提供やボランティア団体の活動発表会の実施、小・中・高校生への森林体験学習等の支援ならびに企業・団体等が行う森林づくり活動等への指導者の派遣や用具の貸出し等により、県民参加による豊かな森林づくりの推進を目指した。

・ボランティア参加者数 5,725人（目標10,500人）

ア 県民参加の森林づくりボランティア活動

回数 16回

活動内容 植栽、枝打、間伐、除伐、竹林整備

参加者 988人

イ 団体の活動発表会

回数 2回

参加者 139人（アを含む）

ウ 小・中・高校生の森林学習等支援

学校数 19校

活動内容 森林学習、自然観察、森林作業体験

参加者 1,452人

エ 団体等への指導者の派遣

回数 49回

活動内容 自然観察、間伐、植樹、枝打、林内整備等

参加者 1,314人

オ 団体等への用具の貸し出し

回数 81回

活動内容 森林作業体験等

参加者 3,773人（ウ、エの参加者1,802人含む）

（2）森林インストラクター活動

県民の森林への理解を深めるための普及啓発やボランティア活動の円滑な推進を図るた

め、森林インストラクターの育成を行い森林インストラクター派遣の調整を委託した。

ア 森林インストラクターの派遣調整事務の委託

財団、学校及び各種団体等が行う森林づくり活動や自然観察の指導等に係る森林インストラクターの人選、調整、派遣等をNPO法人かながわ森林インストラクターの会に委託した。

回数 84回

派遣人数 615人

イ 森林インストラクターブラッシュアップ研修

回数 3回

参加者 67人

ウ 神奈川県森林インストラクターの養成

子ども達の森林体験学習や県民の森林づくり活動の多様化等に対応した指導者を養成するため、第17期神奈川県森林インストラクター養成講座（二年次）を開講した。

講座日数 13日

期間 令和4年4月～令和5年3月

参加者 33人

(3) 森林づくり普及啓発

県民の森林への理解を深め、森林づくりへの参加を促進するため、普及啓発活動を行った。

ア 森林づくり日程表等の作成

森林づくりへの参加を促進するため森林づくり活動日程表等を作成し、配布した。

日程表の作成数：20,000部 配布先：既参加者、行政機関、企業等

イ やどりき水源林の案内

県民に水源の森林づくりへの理解を深めるため、「水源かん養機能の高い見本林」として整備している「やどりき水源林」に毎週土曜日と日曜日（12月から2月を除く）に「森の案内人」を配置し、水源の森林づくりの解説や森林の案内を行っている。

配置場所：やどりき水源林

配置人員：延べ192人

ウ 成長の森の造成

赤ちゃんが誕生した家族から神奈川県産無花粉スギの苗木の寄付を受け、県と財団が連携して県立21世紀の森で森林づくりを行い、かながわの森林への理解増進を図った。

苗木寄付 122家族 187人

成長の森植樹会

開催日 令和5年3月11日(土)

場所 県立21世紀の森

参加者 218人

エ 街頭キャンペーン

県民の参加と協働を一層高め、水源環境保全再生への取り組みを促進するため、森林に親しむ機会の少ない都市部の県民に向け、水を育む森林の大切さなどについて普及啓発活動を行った。

開催日 令和4年11月4日(金)～6日(日)

場所 川崎市川崎区富士見公園（かわさき市民祭り会場）

参加者 403人

オ 水源林のつどいの開催

開催日 令和4年8月6日(土)

場所 やどりき水源林

参加者 344人

5 緑の募金事業

(1) 緑の募金活動

ア 会議の開催

(ア) 第22回緑の募金運営協議会

開催日 令和4年5月23日(月)

主な議案 令和3年度事業報告及び収支決算等

(イ) 第23回緑の募金運営協議会

開催日 令和5年3月3日(金)

主な議案 令和5年度緑の募金実施要領及び事業計画、収支予算等

イ 募金活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため街頭募金活動を制限する中、学校、職場、企業、団体等において、緑の募金運動を展開し、次のとおり募金収入を得た。

・募金額27,194,215円(目標額20,000,000円)

緑の募金種類	令和2年度	令和3年度	令和4年度
緑の羽根募金	10,423,785円	19,130,451円	19,486,116円
緑化グッズ募金	7,082,960円	6,900,118円	7,708,099円
計	17,506,745円	26,030,569円	27,194,215円

(2) 地域緑化の推進

ア 学園緑化推進事業

緑の募金協力校が実施する小規模な学校緑化に対し支援した。(延べ63校)

イ 指定校緑化事業

緑の募金協力校の中から、神奈川県教育委員会及び神奈川県私学振興課の推薦を得て、学校環境緑化に積極的に取り組む9校を指定し、学校緑化を実施した。

公立学校の部(6校)

小学校 川崎市立西御幸小学校ほか2校

中学校 葉山町立葉山中学校ほか1校

高等学校 県立平塚農商高等学校

私立学校の部(3校) 日本大学藤沢高等学校ほか2校

ウ ふれあい緑化事業

地域住民等が自主的に行う植樹活動への支援及び県民への苗木配布を実施するとともに「緑の募金」及び「かながわのナショナル・トラスト運動」の普及を図った。

(ア) 植栽 川崎市溝口公園ほか2箇所 115本

(イ) 苗木配布 三浦市初声下宮田市民交流センターほか2箇所 327本

エ 丹沢の緑を育む集いへの参加

丹沢大山地域において県民参加による森林衰退域への植生回復事業、ボランティアとの協働による秦野市菩提峠周辺での植栽や保全活動、水質調査等を実施している「丹沢の緑を育む集い実行委員会」(構成員:神奈川県、秦野市、清川村、当財団等)に支援した。

オ 森林保全活動

県民に森林づくり体験の参加者を募り、県立21世紀の森等で森林保全活動を行った。

実施日 令和4年10月23日（日）ほか1回
場 所 南足柄市内山ほか
内 容 竹林整備
参加者 86人

カ ジュニアフォレスター教室

次世代を担う子どもたちを対象に森林や川での自然観察や林業体験を実施し、森林づくり活動等への関心を高めた。

実施日 令和4年6月12日（日）ほか2回
場 所 横浜市戸塚区名瀬町ほか
参加者 171人

キ 企業の森林づくり体験活動事業

企業からの緑の募金協力を受け、企業が行う森林づくり活動に対し行政や関係団体の連携を図り、企画立案や事業運営の協力を行った。

企業数 [1企業(まいばすけっと株式会社)]
実施日 令和4年5月12日（木）ほか2回
場 所 川崎市宮前区水沢地内(水沢特別緑地)ほか
参加者 99人

(3) 緑の少年団の活動支援

森林での体験学習活動、地域での社会奉仕活動、レクリエーション活動等を行う緑の少年団の育成強化と活動支援を実施した。

ア 緑の少年団交流集会の開催

開催日 令和5年2月11日（土）
場 所 新江ノ島水族館、鎌倉広町緑地
内 容 見学、体験講座
参加者 52人

イ 緑の少年団連絡調整会議

開催日 令和4年5月14日（土）
場 所 あつぎ市民交流センター
内 容 令和3年度活動報告等
参加者 8人

(4) 緑化運動・育樹運動コンクールの開催

緑化運動・育樹運動コンクールを実施し、入賞者を表彰した。

ア 応募及び入賞数（上位入賞作品は（公社）国土緑化推進機構主催全国コンクールへ出品）
ポスター原画コンクール（応募点数 342点、入賞点数 33点）
標語コンクール（応募点数 343点、入賞点数 35点）

イ 表彰式

開催日 令和4年12月10日（土）
会 場 県立地球市民かながわプラザホール

ウ 令和5年用国土緑化運動・育樹運動コンクール（主催（公社）国土緑化推進機構）
標語コンクール 入選 1人

(5) 緑の祭典への参画

「かながわ未来の森林づくり2022inはだの」を県、秦野市と開催した。

開催日 令和4年5月22日（日）
場 所 秦野市表丹沢野外活動センター
参加者 463人

(6) いきいきみどり基金による支援

竹林整備等支援事業

森林整備等の活動に取り組むNPO法人等に竹粉碎機の利用登録や貸し出しを行った。

登録団体 23団体

貸出回数 11回

(7) 協力等事業

ア (公社) 国土緑化推進機構関係

(公社) 国土緑化推進機構の要請により次の業務を実施した。

(ア) 企業の森づくり体験活動事業

企業が行う森林づくり体験活動をサポートするため、土地所有者等と協定を締結し具体的な企画、提案を行うとともに、活動フィールドの整備、情報発信、森林インストラクターの派遣などを行った。

(イ) 公募事業 (緑の募金、緑と水のファンド)

国民参加の森林づくり運動を推進するため、森林整備や緑化活動の事業に取り組む団体に対し、公募事業を周知した。

(緑の募金公募) 採択 10団体

(緑と水の森林ファンド公募) 採択 1団体

(ウ) 学校環境緑化モデル事業

学校環境の緑化を通じて、青少年環境教育の推進を目的に学校敷地内の緑化や環境教育フィールドの整備を行う学校を支援した。

申請3校、採択3校 (平塚市富士見小学校ほか2校)

イ (公社) ゴルフ緑化促進会関係

協力ゴルフ場所在地を中心とした公共施設へ緑化の推進等を支援した。

III 理事会、評議員会等の開催状況

定款及び関係規程に基づき財団の運営について審議するため、次のとおり会議を開催した。

1 理事会

(1) 第21回定時理事会

提案日 令和4年6月8日 (水)

主な議案 令和3年度事業報告及び収支決算等

(2) 第22回定時理事会

提案日 令和5年3月16日 (木)

主な議案 令和5年度事業計画及び収支予算等

2 評議員会

第10回定時評議員会

開催日 令和4年6月27日 (月)

主な議案 評議員、理事の選任並びに令和3年度収支決算等

3 緑の募金運営協議会

(1) 第22回緑の募金運営協議会 [再掲]

(2) 第23回緑の募金運営協議会 [再掲]

事業報告の附属明細書について

公益財団法人かながわトラストみどり財団定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成しておりません。

令和5年6月

公益財団法人かながわトラストみどり財団